

一 夕 日刊 磐城時報

編輯人 岡田 弘成 印刷人 岡田 弘成 印刷所 磐城印刷局

更に三日間

議會停會を命ぜらる

政府では議會停會明けの一日午後零時半院内に緊急閣議を開き協議の結果一日から三日迄更に停會を奏請する事に決定し午後一時二十分散會し衆議院本會議開會に先立ち右の詔書が下り停會を命ぜられた。

示威行列を取止め

二ヶ所で講演會

ノーデーと石城労働界

警城一般労働組合並に日本坑夫度は昨年度の營業收益税納税人の組合石城支部では五月一日より五月二十四日迄の税額四萬三千元を下し午後六時から好問村百六十一圓、第三種所得税人員を早めるため絶えず協賛打合せ好樂館、内郷村大字宮加藤木方千四百三十人税額十萬六千九百十九元を行ふ等である。十五日重て各二箇所で労働問題演説會を開くに對し所得税に在つては米價行に於ける責任ある代表者の懇く等々平署から片寄、伊藤兩警の低落のため収益税に於つては議會を開催する事になつた。部補臨監に出張する等々ある。尙ほ舊労働界に屬する人々が計劃中であつた示威行列は取止めになつた。

所得調査委員會

今年は一割減

平務務署所轄内第三種所得調査委員會は二十五日より開會前後を見ず殆んど終熄した模様である。二十日の會期中に於いて調査委員がそれでも現在三十五名の役員濱沼隆太郎、野崎滿藏、柿田 容患者あり豫防警戒の手を緩め榮太郎、猪狩庄平、鷲久藏、赤らねぬ状態に在るが、平町に於津庄兵衛諸氏の手によりそれぞと近來珍らしく多數の患者を出れ調査を了する等であるが本年すに至つたについて平町の某醫

少し位の病氣では

ウツカリ醫師に罹れぬ

チブス騒ぎが大きいため 困つた状態だ... 某醫師談

平町の腸チブス患者は最近發生師は次の如く語つた。平町に於て水道が敷かれず前は二十名から三十名位のチブス患者が出たのは珍らしくない。今度天然痘患者發生で世間に傳染病に關する恐怖心が高つて来たためでもあらうが、腸チブス患者が發生するや忽ち大騒ぎを演ずるに至る。

来る十五日

銀行合同協議

濱通りに於ける銀行合同問題は當局の斡旋と當業者の自覺で漸やく具体化するに至り去月十九日平町警城銀行樓上に各銀行主腦者が集合協議を行つたが、結果報告、同健康保險事務所報告、同年度の收支決算、昭和三年度豫算を附議し役員並に縣醫師會議員、同豫備議員の選舉を行ふ等である。

石城醫師會

十二日開催

石城郡醫師會第十七回臨時總會は十二日午後一時から平警署樓上に開き昭和二年後半年期庶務報告、同健康保險事務所報告、同年度の收支決算、昭和三年度豫算を附議し役員並に縣醫師會議員、同豫備議員の選舉を行ふ等である。

鮮人撲殺犯人の有力な嫌疑者

勿來坑の鮮人労働者 刑事連引きあぐ

報一渡邊村地内國道新田坂崖の御大典記念事業として鐵骨火下にあつた朝鮮人の怪死体事件見樽を工費六百圓で改築する事は被害者の身元について詳細になつた。

警城炭礦で人事異動

警城炭礦で人事異動 警城炭礦で人事異動

- 命運課主任 筒井三郎 命運課主任 小島良利 命運課主任 神士七郎 命運課主任 高坂派出張所主任

火見櫓建設 高久村消防組では...

胎毒の話(三)

醫學士 五十嵐雄二 述

滲質性素質

滲出性素質を云ふのは、生れ間もなく現はれて来る所の一種の体質であつて、その第一の特徴は皮膚や粘膜が爛れることである、一寸した軽い病氣に罹つても直ちに爛れが出來て何時迄も癒らない、例へば風邪にかつても鼻の粘膜が爛れて何時迄も鼻汁がたり或は氣管枝粘膜が爛れて痰が出る、或は如き、又はよく皮膚がタタれて瘡が出來殊に顔から頭に掛けて多く出來る。要するに皮膚や粘膜の

腺病質

腺病質といふのは如何なるものであるか云ふに、その名の現はる如く諸所の腺が多量に分泌されるので外部から判るの、頭、腋、鼠線部の腺がそれぞれ腫れる、又滲出性素質の如く皮膚や粘膜の抵抗力も弱く、或は皮膚の深部にある淋巴腺の腫れた時に起るのである、又齶齒になり易く、食物の好き嫌ひが

浅野社長 思想講演會

警城炭礦では五月一日ノーデーの日を卜し午前九時から内郷村宮警城劇場で思想講演會を開催社長浅野總一郎氏及び瓜生修養團長の講演があつた。

月並修養會 草野村農事實行組合月並修養會は三十日同村小学校内に開會し郡農會神尾技師の講演があつた。

平天満宮例祭 平町仲間町の北野天満宮では三十日春季例祭を舉行したが活動寫眞の余興で非常の賑ひを呈した。

労働思想係 小浦六助 命運課主任 江戶東一

印刷物は 加納活版所

電氣自殺者 身元判明

去る二十二日飯野村大字上荒川地内東部電力會社高壓線で感電自殺を遂げた青年の身元は平署で調査中であつたが二十九日右は平町字仲町居住磐城炭礦平發電所職工で東京府下西多摩郡水川村生れ小峰利八(二八)と判明自殺の原因は女に嫌はれた結果らしい。

五人殺し 判決延期

内郷村大字白水五人殺し鈴木治八郎(五〇)に對する判決言渡しは三十日の筈であつたが来る四日に延期された。

澤村神社例祭

郡草野村では今日郷社澤村神社の例祭を執行する筈。

映畫界

戀の別れ路

谷川愛子は母の遺言と父の理解の下に同じ病院で入院してゐた前田實と結婚する事を許された。愛子は前田の病癒の日を約して父と共に郷里へ歸つた。義姉の房枝には小學教員の山岸が熱烈な戀をしてゐた。然し房枝は殆んど無關心で妹が愛人を得た事を心から喜んだ。病癒えた前田は友人安岡と共に愛子を訪問した。時ゆくりなく見た房枝に前田の心は引き寄せられた。房枝も亦之れを直感した。同時に心の動きを感じたのであつた。或る散歩の夕二人は前田と肩をならべて歩いてゐたが房枝は心の苦しみに堪へず途中から姿を隠した。剛ら前田と

出逢つた房枝は彼から愛を迫られた。彼の女はたゞ妹との約束を守つて下さいと云ひ切つた。然し純眞な房枝の涙は前田の胸を搔むしつた。彼は悶々の情を押へて東京へ歸つて終つた。程なく東京へ歸つた。房枝は前田の愛の變らなことを説いて妹を慰めたがそれは偽りであらねばならなかつた。愛子の病は旦夕に迫つた。房枝は意を決して山岸を訪ひ婚約して東京に上り前田を尋ね自分は山岸と婚約をしたから妹の愛に廻らねばと頼んだ。そして二人は愛子の病床にのぞんだ時は彼の女の眼は閉ぢられてゐた。空しく歸り行く前田を停車場に見送つての歸途馬車の中で房枝は山岸に向つて、私は貴方を愛してはゐなかつたが吃度良し妻にならなす信じて下さいと契つた。(平館)

大和田醫院
耳鼻咽喉科
平町南町
電話一七〇番

磐城病院
内科、外科、婦人科
小兒科、花柳病科
入院隨時 電話一四四番

外科
入院隨意
上田外科醫院
南町電話二二九

耳鼻咽喉科 專門
平町仲町七
新築 移轉 場所 合津醫院
電話五五九番

外科 診療開始
花柳病科 專門
平町六丁目橋際
木村外科醫院

セメント 磐城セメント株式會社
壁用材料 西村屋藥舖
ペンキ塗料 平町二丁目
板ガラス 電話三三番

グノール 散
定價(二十錢・三十錢・五十錢・六十錢)
本劑は神經系の鎮痛強壯内服薬として藥化學的に成功せる新劑なり。故に齒痛、頭痛、神經痛、リウマチス等の神經系の諸症、偉大なる効を奏す。直ちに試みよ。
善は急げ、試験はタツタ五分間。
當地方信用ある各藥局各藥店に特約販賣せり。
特約店 平町五丁目角 **山野野藥局**

加藤丈夫營業所
治淋新劑 **強アチゴ**
急性淋病、慢性淋病、消渴、膀胱炎等ニ用ヒテ偉大ノ卓効ヲ奏ス
平町一丁目
特約販賣店 **大平屋藥店**
電話六四二番

二葉印刷所
平町字仲町
電話七三四番

牛豚肉破格 提供
牛中肉 百匁 金二十五錢
牛上肉 同 金四十錢
豚中肉 同 金六十錢
豚上肉 同 金九十錢
口肉 同 金二十五錢
口肉 同 金四十五錢
口肉 同 金五十五錢
廉賣王 **深谷牛肉店**
平町停車場前(平劇場入口)
電話五二四番

龍虎相搏 短期超特別大興行
春季名畫大會
現出の三再畫名れらへ迎に望熱のニアフ的狂熱
ハロルドロイド映畫
◆パテール社名畫 原名くよくよするな
助演ジビナナフルストン嬢
巨人征服 全六卷
監督池田富保 助監督清瀬英太郎
撮撮松村清太郎 進行係西村治三郎
河部五郎、大河内傳次郎熱演
捕物奇譚 **修羅王** 前後篇 全部上映
浪人?直參?今宵も三つの魂は消れた。
倒幕の犠牲は三つ増したわ、我等の備願は近づいて来るのだ。寄るな、寄れば村正の鐙が鳴るぞ、觸れば汝の魂は消えるぞッ……
説明 石井孝
◆阪東妻三郎映畫
時は奢侈隨華の美なりし文化の時代が生る旗本代表的デカタンと神出鬼没の蜘蛛 全十五卷

ビータス 定價(三圓五圓) 拾圓廿圓
最新滋強 回春劑
◎適應症(腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能、陰萎遺精、體力増進、新陳代謝等)
平町專賣所 五丁目角 **山野邊藥局**